



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1
事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp



会長／清水 光朗 幹事／小山 浩太郎 クラブ会報委員長／轟 修平
SAA／村田 弘志 副 SAA／西沢 徹

第1376回例会 2016年（平成28年）3月4日（金）

世界へのプレゼントになろう Be a Gift to the World

副会長挨拶 高井新太郎副会長

「成功は成功の母」という格言があります。失敗は、その原因を究明し、同じ過ちを起さないようにして成功を勝ち得る糧となるという意味ですね。「失敗学」という学問を聞いたことがありますか。失敗から成功の鍵を探し出す学問と云われています。人は大小を問わず失敗をします。1回も失敗をしないという人はいません。

弁護士の仕事は、依頼者の失敗を糧としているという人がいます。どんな失敗かといえば、取引先や貸付先の調査不十分から、売掛金請求や貸付金請求という事件となり、借主の信用調査不足から貸料請求や土地・建物明渡請求事件が、又配偶者の選択不十分から離婚請求事件が生じます。

弁護士も失敗します。弁護士の失敗は「弁護過誤」といい、弁護過誤は、一般の人の責任より加重された特別の責任といわれ、過ちの大小によって損害賠償だけでなく懲戒処分となり最悪の場合には弁護士の身分を失うことにもなります。この懲戒処分の種類として、戒告2年以内の業務停止・退会命令そして除名があります。

「弁護過誤を避けるために」という本があります。これによると5か条がありますがそのうち2つの例を紹介します。

1. 受任事件を吟味すること

依頼者の中には、弁護士を悪く利用しようとする人がいます。依頼者性善説に立つことは危険があると云っています。

2. 全ての事件について手を抜くな

受任した事件の全てについて実際には均等に時間と労力をかけることは難しいのですが、小さい事件だからといってそれでも絶対に手を抜いてはならないのです。続きは機会があれば具体例を挙げて話します。

3月のお祝い

おめでとうございます

<結婚記念会員> 林 智成さん 井上明彦さん
小池裕孝さん 関 幸博さん
<夫人誕生記念> 青木容子さん 伊東義次さん
<会員誕生記念> 青木 宏さん 飯田弘己さん
関 幸博さん 竜野晃一さん



幹事報告

小山浩太郎幹事

- ・3月ロータリーレート 1ドル=116円
- ・8日市内6RC幹事会と合同親睦ゴルフコンペ打合せ会。小山幹事、清水会員家族委員長出席。
- ・次週11日例会場は2階弥生の間に変更。
- ・例会終了後、30周年準備委員会打合せ開催。
- ・月信に地区補助金事業の報告掲載。

ゲスト 遠藤秀三郎さん (遠藤酒造代表取締役)

ビジター 今泉善雄さん (東京西ロータリークラブ)

- ・赤池健さん☆2月26日ゲスト卓話謝礼をニコニコBOXに入れさせていただきます。
- ・今泉善雄さん☆昨日より長野東急様にて人間国宝14代今泉今右衛門の個展を開催しております。明日14時より14代のギャラリートークがございます。ご高覧頂きますれば幸いです。
- ・宮川礼二さん☆倉崎さんのご冥福をお祈り申し上げます。
- ・南 信行さん☆初孫誕生！おじいさんになりました。

・合計 19,000円 ・スヌーピー 4,230円
・累計 730,048円

講師紹介

関 幸博プログラム委員



遠藤秀三郎さんは遠藤酒造の6代目当主であります。遠藤酒造は1864年から地元の方に旨し酒を飲んでいただきたいと創業者の遠藤徳三郎さんが酒造りをはじめられました。

近年では12期連続のモンドセレクション受賞、日本酒部門で日本初の、クリスタル賞受賞など県内外のコンクールに受賞されています。品質的にも全国的に注目されている酒蔵であります。この機により深く知って頂ければと思います。

創立30周年記念式典のお知らせ

2016年9月16日 (金) 18:30～
於：犀北館

創立30周年記念旅行のお知らせ

2016年10月23日 (日)～24日 (月)
東北方面 ご家族もご一緒に！
スケジュールにお入れください。

3/11 本日のプログラム

ゲスト卓話 平林加奈子さん
「イケイケスポーツ栄養」

ゲスト卓話 遠藤秀三郎さん

「日本酒と健康」



三つのお話をして頂きました。「六代目まで続けるのは大変」。清酒市場は減少、その中での「生き残り策」。「日本酒は、健康飲料」です。

「事業継承」創業1864年5代目のお父さんが亡くなった時、従業員は2人、自分は21才の大学生。酒蔵をやめても良いのですが、父親が私に『俺が死ぬから継いでくれ！』と言い残したような気がして、継承することにしました。大学を中退、大変なことになりましたが、頑張るしかありません。

「生き残り策」ところが業界の状態は悲惨でした。清酒の出荷量は、この10年間で33%減少しています。そんな中、新しいお酒の開発をしました。どむろく、朝しほり、そしてご存知の溪流。税務署、同業者達の高いハードルをなんとか乗り越えました。また、お祭り「蔵開き」を春、秋と二回開催。35,000人も来場します。シャトルバスの運行、一杯100円のお酒と大サービスで赤字ですが、これも大事な宣伝です。海外では、日本酒は大人気。でも営業する者は、太って不健康ではダメです。精進し顔色を良くし、体型もスマートに維持しています。頑張ったかいあって現在、従業員は30名、増収増益を続けています。

「日本酒は健康飲料」日本酒を適量飲んでいると(一日に2合)百薬の長となります。善玉コレステロールを増やす、各種疾患の予防。糖尿病、がん、心臓疾患、脳血管疾患うつ病。ストレスの軽減、アレルギーの抑制等の効果があります。

米と相性が良い我々は、日本酒と上手に付き合いたいものです。「晴れの日には日本酒」、世界に伝えていきます。

さて応援団である日本人の私は、日本酒をこよなく愛し続け、健康に長生きをするつもりであります。
轟 修平クラブ会報委員長

例会案内

3月18日 ゲスト卓話 松本亮治さん
「キモノのたちばな」